

2022年度 適性検査

「国語の読解力」

【大問 1】 次の各設問に答えなさい。

(全 12 問／配点 70 点)

問 1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人は、世界をどうとらえるか。ぼくは息子の成長を観察してみたが、赤ん坊は、絵を描かないうちから、まず声で話す。その意味では言語が、絵よりも先にある。しかしまだ文字は読めない。つまり「話し言葉」があって、「絵」があって、「書き言葉」がくる。赤ん坊はそういう順序で成長していく。

擬音語というのは、そういう「書き言葉以前」である。いや話し言葉以前でもある。だからそこには言語誕生の原初の姿が秘められているといってもよい。

それは分節化・意味化された言語で世界をとらえるのではない、まさに「ナマの世界」のようなものだ。だから擬音語は、とくにマンガの絵的な擬音語は、そういうザラザラのナマの世界の表面に触れる、ようなところがある。

言語というのは、いまや完成されているし多様化しているから、ぼくたちは外国語を聞いても理解するのが難しい。しかし  は「原初」のカタチに近いから、外国語であってもニュアンスは理解しやすい。

(布施英利『マンガを解剖する』)

問い：空欄に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 話し言葉
- ② 書き言葉
- ③ 擬音語
- ④ マンガ
- ⑤ 外国語

問2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

物事の成り立ちについて論理的に考えることは、その物事の成り立つ要素と要因とを徹底的に、恣意を交えず客観的に分析し、そこから論理・推論を論理的に展開することに通じる。□□□□、あいまいさを一切残さないように努めることになる。このような思考様式は、誰にでも必ずできることなのに、わが国の教育では、これに対し重きを置いてこなかった。なぜだろうか。

その理由として、一つ考えられることは、わが国の人たちの多くが、自分の意見を持つことに馴れ親しんでこなかったという歴史的事実である。

(桜井邦朋『日本語は本当に「非論理的」か 物理学者による日本語論』)

問い：空欄に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① なお
- ② 一方で
- ③ ところで
- ④ しかし
- ⑤ それゆえ

問3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

豊かな社会では、消費者は多様な商品からの選択が可能である。このとき消費者は、品質や価格に加えて、企業イメージも加味して購買を勘案できる。企業は、このような消費者の嗜好<sup>しこう</sup>に訴えるために、ISO認定を受けたり、ゼロエミッション（廃棄物ゼロ）を掲げたりすることで、「環境配慮企業のイメージ」を打ち出すことになった。

これまでの企業は、ちょっとでも利益を大きくするために環境を平気で犠牲にしてきたが、今度は全く同じ利潤動機から、環境配慮を目指すようになったというのは、驚くべきことであり、前世紀の経済学者たちには想像も及ばなかった展開に違いない。

ここでカギになるのは、生産者と消費者の間でかわされる「シグナル」の機能である。消費者は、自分たちの環境志向を、によってシグナルとして企業に発することができる。また、そのシグナルを受け取った企業は、環境配慮型の生産を広報することによって、自社の生産についてのシグナルを消費者に返すことが可能である。

(小島寛之『数学的思考の技術 不確実な世界を見通すヒント』)

問い：空欄に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① ISO認定の取得
- ② 利益追求
- ③ 購買行動
- ④ 広報活動
- ⑤ 商品の生産

問4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「身体」という言葉のほかに「肉体」という言葉が、人間の「外面的な」物質的存在に対して用いられる場合もある。それに対して「精神」の他に「理性」、「心」とか「感情」、「魂」などが対置され、人間の「内面的な」非物質的存在に対して用いられる。身体あるいは肉体に対して精神、理性、心、魂、感情などを対立的に捉える二元論的な考え方は、一般に西欧哲学の影響によるものである。

そこではよく知られたデカルトの言葉「我思う、ゆえに我あり」や、パスカルの言葉「人間は考える<sup>あし</sup>葦である」に端的に表現されているように、精神や理性あるいは心が本質的な自己を構成するものとして重視され、身体あるいは肉体は仮のものであって、自己にとって本質的ではないとされる。キリスト教的な人間観のもとでは肉体は肉欲あるいは情欲に支配されやすいやっかいなもので、それを精神がコントロールすることが課題であった。あるいは身体はより動物に近い存在であって、人間が動物と異なるのは理性や精神によるとされたのである。デカルトは物体としての身体という概念をもっとも明瞭な形で提出し、それを精神と<sup>しんべつ</sup>峻別して対立させた。

(川野美砂子「精神と身体」)

問い：「二元論的な考え方は、一般に西欧哲学の影響による」とあるが、「西欧哲学」の考え方として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 人間は肉欲や情欲に支配されやすいため、精神を鍛える必要がある。
- ② 本質である精神を磨くことで、肉体も洗練させることができる。
- ③ 対立する肉体と精神をうまく調和させることが人間にとって重要である。
- ④ 人間が人間である根拠は、理性や精神の働きに求めることができる。
- ⑤ 人間のみが精神をもつので、人間が動物をコントロールするのは必然だ。

問5 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

匹田「なるほど、正直にやっけては、損をすることが多いかもしれません。この人たちには、不正の人がやるような、あくどいことはできませんからね。けれども一方不正の者は、正義の士でなくてはなし得ない、正しい行為をやるということは、夢にもできません。不道徳家には、うそはつけるかしのれないが、敢然として、なすべきことをなすという、尊い勇氣を持っていません。ですから、この意味からすれば、正直ものは一番つつこんだ仕事をするというものです。」

金次郎「しかし先生、それをやれば成功するんですか。」

匹田「あなたのいう意味が、世間普通の成功という意味ならば、それは、必ずしも成功するものとは言われません。」

金次郎「それでは、善因善果というわけにはいかないんですね。」

匹田「わたしはよいことをすればよい報いがあり、悪いことをすれば悪い結果が従うものと、かたく信じております。しかし世の中のことは、あまりに複雑で、あまりに深いから、わたしが信ずる通りにおこなわれていません。従ってその問題は、わたしにはとてもわかりません。けれども、ただ一つ、わたしにわかっていることがあります。それは、よい結果が来るからよいことをするのでなく、悪い結果が来るから悪いことをしないのではない。結果のいかんにかかわらず、人は、ということです。」

(山本有三「生命の冠」)

問い：空欄に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① しなくてはならないことをしなければいけない
- ② 成功のために信ずることをしなければいけない
- ③ 他人のためになることをしなければいけない
- ④ つっこんだことをしなければいけない
- ⑤ 思いきったことをしなければいけない

問6 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺

子規

世に名高いこの句も、子規によれば、庶民的な「柿」と古都・奈良との配合の新しさに根ざしたものだだった（「くだもの」）。子規といえば写生の提唱が知られているが、写生と並んで配合という方法も、新時代の俳句を切り拓く一助となりうると考えていた。

現代俳句においても、取り合わせは、ごく一般的に用いられている手法だ。藤田<sup>しょうし</sup>湘子は詩人西脇順三郎の「離れた関係にある言葉同士の結合が詩を生む」という詩論に触発され、取り合わせをより先鋭化した「二物衝撃」を、自分の結社のスローガンとして掲げた。季語ともう一つの題材の間には、互いに衝撃してスパークを生じさせるほどに、できるかぎり距離や飛躍があったほうがよい。

（高柳克弘『どれがほんと？——万太郎俳句の虚と実』）

問い：本文で説明されている「二物衝撃」の手法を用いていない俳句を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 夏草<sup>つわもの</sup>や兵どもが夢の跡
- ② 夏草に※汽缶車の車輪来て止まる ※汽缶車——機関車
- ③ 学問のさびしさに堪へ炭をつぐ
- ④ 降る雪や明治は遠くなりけり
- ⑤ 朴<sup>ほお</sup>の葉の落ちをり朴の木はいつこ



問7 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

装飾は、いつも何かに付随するものであり、それ自体が自立した存在ではないといわれる。しかし、飾るという「行為」に目を向けて、それを人間の主体的な活動の一環とみなせば、飾りの自立性の有無などさして問題にならない。こと日本の文化伝統について見る限り、飾りなくして人間らしい生活はなかった。日本人にとって本来「かざり」とは、晴れの日の祝祭の場を、日常から<sup>こつぜん</sup>忽然と非日常へと変貌させる演出だった。それは単なる感覚の慰み以上に高揚した精神的営為——神聖な「遊び」でもあったのだ。かざりはここでは、生活のみじめさ、憂さから、つかの間にせよ人の心を解き放ち、階級、身分を超えて生きる喜びを味わわせる。日本の装飾美術は、いつもそのような動機によって活気づけられてきた。

(辻惟雄『奇想の図譜』)

問い：筆者の主張として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 装飾は、本来人間が生きる喜びを味わうための主体的な活動であり、その神聖さゆえに高い階級、身分の人のものであった。
- ② 日本の文化伝統の中で、人間らしい生活を行うために階級、身分に応じて工夫された装飾美術が育まれてきた。
- ③ 日本人にとって、装飾は非日常空間を日常空間に戻す精神的営為であり、神聖な「遊び」としての側面があった。
- ④ 階級や身分に関係なく、日本人は装飾という演出によって日常生活の辛さから心を解き放ち、生きる喜びを味わってきた。
- ⑤ 日本の装飾美術は、晴れの日の祝祭の場を非日常に変える演出であり、それ自体が自立した文化伝統であった。

問8 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ヒロシマの何十倍、何百倍の威力のある爆弾が、地上のどこかで眠っていることは、不気味なことにちがいない。万一、そうした爆弾が一たん<sup>おと</sup>落されたら、もはや、阿鼻叫喚<sup>あびきょうかん</sup>も、地獄面もなく、ばらいろの「無」の静寂がすべてを透明にするばかりということが想像できる。ケロイドも、白血病も、あとくされをのこす余地がないだろう。そこまでゆけば、すべての論議も、おさらばだ。

一つの国の暴力に対抗し、それより強力な暴力を備えることで、からくも一日一日の平安をかせぐべく、バランスをとるというやりかたは、どんなサーカスの空中曲芸よりも危険なものだ。そんなとき、正義だとか、自由のため、平和のためなどというあやしげな文句は、火の手に風を送るようなものだ。

(金子光晴『自由について——金子光晴老境随想』)

問い：筆者の主張として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 歴史の中で正義や自由、平和といった概念のために保持されてきたさまざまな暴力は、その妥当性を否定できない。
- ② 暴力に対抗して暴力で均衡を保持するやりかたをさまざまな理由で正当化するとき、暴力がはらむ危険性は一層高まる。
- ③ 世界の平安は暴力と暴力との危ういバランスで成り立っており、正義や自由などの概念で平和を補強する必要がある。
- ④ 原子爆弾などの強力な暴力は危険なものだが、結果的に国家同士の論議などのさまざまな争いを解決し、平安をもたらしている。
- ⑤ 暴力の行使による悲惨な事態を防ぐために、暴力の保持が正義、自由、平和などを<sup>かな</sup>叶えるものか確認する必要がある。

問9 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ナツミもマキちゃんも中学受験をした。結果の発表があった翌日、マキちゃんはクラスのみんながいるところでたず訊ねてきた。

「どうだった？」

ナツミは一瞬言葉に詰まったけれど、できるだけ普通に言った。

「だめだった。マキちゃんは？」

「受かった」

「よかったね、おめでとう」

その日、ナツミは家に帰って自分の部屋でひとりになると涙が流れてきた。たしかにみんなの前でだめだったと言わなくてはならないのはつらいことだった。でも、それだけだったら涙を流したりはしなかったろう。ナツミはマキちゃんに踏みつけにされたと思ってしまったのだ。もし、本当にマキちゃんがわたしの受験の結果を心配して訊ねてくれていたのならそれでもいい。でも、実際は、わたしの結果なんかどうでもよかったに違いない。ただ、みんなの前で、自分におめでとうと言わせたかっただけなのだ。

(沢木耕太郎「銃を撃つ」)

問い：「ナツミは家に帰って自分の部屋でひとりになると涙が流れてきた」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① ナツミが中学受験に落ちたことを知りながら、クラスのみんががいるところで結果を訊ねたマキちゃんに、悪意を感じたから。
- ② 中学受験に受かったマキちゃんにナツミが受験に落ちたことを心配されて、みじめな気持ちになったから。
- ③ マキちゃんが、クラスのみんなの前で中学受験の結果を話題にすることで、話の主演になろうとしていると感じたから。
- ④ ナツミは中学受験に落ちたことを隠していたのに、マキちゃんのせいでクラスのみんなものにも知られることになったから。
- ⑤ マキちゃんは自分の合格を自慢したくて、中学受験のことを話題に出し、ナツミの気持ちを全く考慮していなかったから。

問 10 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

しばらくのあいだ、私は対局の模様を、つまりは、みな顔を眺めていた。いい顔なんていう表現はあまりに陳腐で、なにを語ったことにもならないのだが、目が細くなって垂れているとか、顔の筋肉がだれたふうではなくゆるんでいるとか、唇の端がちょっとあがり気味になっているとか、描写に長けた小説家を真似るみたいにいろいろな言い方をしてみても、結局、人の顔というのは碁盤の景色とおなじで、細部を順々に見ていくだけでは《表情》にならない。目、鼻、口、耳。それらをつなぐ頬やこめかみもひっくるめてひとつになっているからだ。その意味で、いい顔とはそれ以外に形容しようのない盤上の模様であり、碁会所の面々は、じつにいい顔をしていた。

(堀江敏幸『なずな』)

問い：人の表情を表現する際に、「描写に長けた小説家を真似るみたいにいろいろな言い方」をすることに対して作者は否定的だが、それはなぜか。「顔全体」の語を使って、「～から。」につながる形で25字以内で答えなさい。

問 11 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ロンドンの本屋街を歩いた人ならだれでも気づくことだが、歴史、伝記、自伝類が豊富なのが特徴だ。また日曜新聞は「新聞王ビーバーブルック」「チャーチルの母」といった伝記特集を付録にして、毎週の目玉商品にしている。

歴史が好きだというのは、つまり経験主義だということだろう。いいかえれば、現実主義ということにもなるだろう。だからイギリス人は、政治や法律という現実を処理するための制度では才能をみせ、優れたお手本を世界に与えてきた。その代わり、観念の世界をつくり上げることは、あまり得手でないようにみえる。

昔から音楽はドイツやイタリアのものだったし、絵画はフランスやスペインに遠く及ばなかった。イギリス人にとっては、昔であれ、現代であれ、経験世界だけが本物の世界であって、「この世」から超越した、<sup>けんらん</sup>絢爛たる想念を表現するタイプではなかった。その意味では、たいへん現世的な人たちなのだろう。

(深代惇郎『深代惇郎エッセイ集』)

問い：「観念の世界をつくり上げること」とはどのようなことか。「～こと。」につながる形で25字以内で抜き出し、初めと終わりの5字を答えなさい。

問 12 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

一般に、不吉な未来について語ることを、好まない人は多い。だがそれはもしかすると、「言霊思想」の影響かもしれない。

これは、かつてどこの文化圏にも見られたものだが、要するに「言葉にすると、それが現実にかかる」という信念のことである。現在の欧米では、この種の考え方はほとんど見られない。その理由はおそらく、他の呪術的な要素とともに、言霊思想もキリスト教によっていわば「漂白」され、その土台の上に西洋近代社会が構築されたためであろう。

さて、この信念が共有されている社会において、未来のリスクについて語ることは、別の意味で「危うい」行為となる。なぜなら、リスクを語る者は、  
「危険をもたらそうとしている」と見なされるからだ。

もちろん、多くの現代人はそんな迷信めいたことは考えていないと自認しているだろう。それでも、「縁起でもないことを言うな」と私たちが告げる時、ある種の言霊思想的な圧力の影響下にあるとは考えられないか。だとすれば、この社会がリスクと向き合う上で、それが障害となっている可能性は否定できない。

(神里達博『リスクの正体——不安の時代を生き抜くために』)

問い：「リスクを語る者は、『危険をもたらそうとしている』と見なされる」とあるが、それはなぜか。「～から。」につながる形で25字以内で説明しなさい。

【大問 2】 次の文章と資料を読んで、後の各問いに答えなさい。（全 5 問／配点 30 点）

近年、世界的な人口の増加などを背景に、食料自給の重要性が改めて注目されている。しかし、2017 年度の日本の食料自給率は、カロリーベースで 38%となっており、先進国の中でも低い水準にある。国内で消費される食料の 62%を輸入に依存しているのである。なお、カロリーベースの食料自給率とは、「1 人 1 日当たり国産供給熱量／1 人 1 日当たり供給熱量」で計算されるもので、この算定の根拠になる「供給熱量」は、各品目の重量を熱量（カロリー）に換算したものを指す。

日本の自給率がこのような水準にとどまっているのはなぜだろうか。ここでは、日本の食料自給率に影響を与える様々な要因について検討していく。

まず、日本の国土的な制約がある。日本は国土の約 4 分の 3 を山地が占めており、広い平地で大型機械を駆使するような効率的な農業を行いつらい。一方で、日本では食生活の欧米化などを背景に、畜産物を生産するための飼料の需要が増えた。グラフ 1 を見ると、1975 年から 1985 年にかけて飼料供給量が急増し、1985 年以降は飼料供給量のほぼ 8 割を濃厚飼料が占め続けている。濃厚飼料とは、とうもろこしや大豆などの栄養価の高い原料をもとに作られた飼料だが、栽培に広大な農地を必要とするとうもろこしや大豆への需要は、日本国内での生産だけでは満たせない。2018 年時点で、粗飼料（草をもとに作られた飼料）はその 7 割以上が国産だが、濃厚飼料では国産の割合は 2 割に満たないことも、グラフ 1 からわかる。自給率の算定上、輸入飼料によって生産された畜産物は国産供給熱量には算入されないため、濃厚飼料を  傾向は日本の食料自給率低下の一因となっている。

食料自給率に影響を与えるもう一つの要因としては、為替レートがある。円高になると割安に食料を輸入できるようになることが食料自給率にも影響を与える。日本円と US ドルの為替レートは 1980 年には 1 ドル約 227 円だったが、2018 年には 1 ドル約 110 円となっており、長期的に見ると円高に推移している。この為替レートの変動と牛肉の自給率の推移についてのグラフ 2 を見ると、いくつかの例外の時期はあるものの、円高が進むにつれて牛肉の自給率は  傾向がある。

さらに、凶作や家畜の疫病なども食料自給率に大きな影響を与える場合がある。例えば、冷夏による凶作のため国内で米不足が発生した 1993 年は、食料自給率（カロ



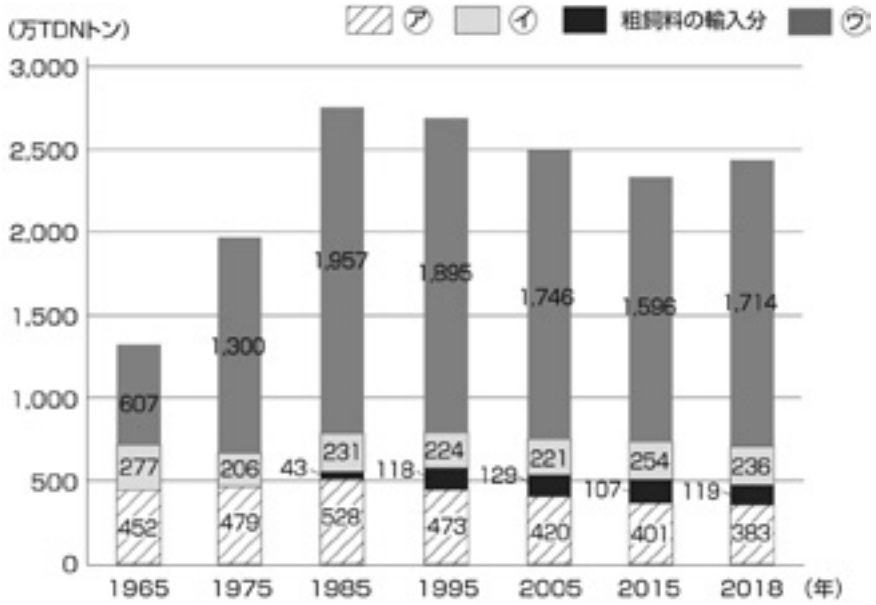
リーベース)が前年比で9ポイント $\text{\textcircled{c}}$ 事態が発生した。また、家畜の疫病などにより、これまで輸入していた食料が輸入できなくなることもある。2003～2005年にはBSE(注1)の発生を原因としてアメリカ産牛肉の輸入が停止されており、この影響で2004年にかけて牛肉の自給率が急速に $\text{\textcircled{d}}$ ことがグラフ2で確認できる。

上記のように、食料自給率の低い日本は、国際関係や異常気象、災害などによる食料リスクに常にさらされている。このリスクに備えるための方策の一つに「食品ロス」の低減がある。食品ロスとは、食べられるのに廃棄物として捨てられている食品のことで、食べ残しや可食部の過剰除去、賞味期限・消費期限切れなどによって発生する。表1からは、食品廃棄物等(注2)の2割以上を食品ロスが占めていることや、家庭でも事業系と同程度の食品ロスが発生していることがわかる。つまり、日本の食料資源を有効に活用するには、 $\text{\textcircled{e}}$ 家庭で発生する食品ロスを減らす取り組みの影響を無視することはできない。こういった取り組みと合わせ、国内で食料を安定的に生産できる仕組みを整え、国産の食料を積極的に消費していくことが、日本における食料自給率を高め、食料リスクに備えることにつながるのである。

注1－BSEとは、牛に見られる疫病の一種のこと。

注2－食品廃棄物等とは、食品ロスに加え、食品の製造や調理の過程で生じる食用にできない産業廃棄物を含めた、廃棄される食品のこと。

グラフ1 飼料供給量の推移 (TDNベース)



※飼料供給量とは、一年間に消費された飼料量。

※TDN (可消化養分総量) とは、飼料のエネルギー含量を示す単位。

※1965年・1975年の輸入分は、すべて濃厚飼料とみなしている。

農林水産省「食料需給表 (2019)」をもとに作成

グラフ2 牛肉の自給率と US ドル / 円為替レートの推移



農林水産省「食料需給表 (2019)」と IMF 「Exchange Rate Archives by Month」 をもとに作成

表1 食品廃棄物等・食品ロスの推計結果

| 年度   | ⊕   | 食品廃棄物等   | 食品ロス   |        |        |
|------|-----|----------|--------|--------|--------|
|      |     |          | 合計     | うち事業系  | うち家庭系  |
| 2017 | 24% | 2,550万トﾝ | 612万トﾝ | 328万トﾝ | 284万トﾝ |

※ 「事業系」とは食品製造業・小売業・外食業などの事業で発生するものを指す。

環境省「食品廃棄物等・食品ロスの推計結果」をもとに作成

問1 文章の内容を踏まえて、グラフ1について述べた文として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① アは濃厚飼料の輸入分を示している
- ② アは粗飼料の国産分を示している
- ③ イは濃厚飼料の輸入分を示している
- ④ ウは粗飼料の国産分を示している
- ⑤ ウは濃厚飼料の国産分を示している

問2 文章の内容を踏まえて、空欄aに入る適切な内容を本文中から探し、10字以内で抜き出しなさい。

問3 文章の内容を踏まえて、空欄b・c・dに当てはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① b上がる      c上がる      d上がった
- ② b下がる      c上がる      d上がった
- ③ b上がる      c下がる      d上がった
- ④ b下がる      c下がる      d上がった
- ⑤ b上がる      c下がる      d下がった

問4 下線部eの取り組みとして適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 野菜や果物の皮も活用して料理に使う
- ② 食品の賞味期限や消費期限を点検する
- ③ すぐに食べきれない食品を冷凍保存する
- ④ 食べ残ししないように好き嫌いをなくす
- ⑤ 災害に備えて食品を多めに買い置きする

問5 文章の内容を踏まえて、表1中の㊦に入る項目を、本文中の語句を使って20字以内で答えなさい。